

整形外科領域におけるバンコマイシン予測値と実測値との解離についての研究

1. 研究の対象

平成 25 年 8 月 15 日から平成 29 年 8 月 14 日に当院整形外科で VCM を投与された症例

2. 研究目的・方法

・目的：当院では、薬剤師によるバンコマイシンの初回投与設計を行う際に、塩野義製薬から提供された VCM-TDM を使用し血中濃度の予測を行っている。しかしながら、実測値と予測値が解離する症例が見受けられたため、その背景因子を調査する。

・方法

平成 25 年 8 月 15 日から平成 29 年 8 月 14 日に当院整形外科で VCM を投与された症例を対象に診療録から後方視的に調査を行う。

調査項目は、性別、年齢、体重、身長、手術施行の有無、併用薬、併存疾患、クレアチンクリアランス (mL/min)、推算 GFR (mL/min/1.73m²) とした。また、予測値との乖離は±5 以上とする。

外来、内科的疾患での使用、血中濃度測定を行っていない患者、透析患者は除外とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、性別、年齢、体重、身長、手術施行の有無、併用薬、併存疾患、クレアチンクリアランス (mL/min)、推算 GFR (mL/min/1.73m²) をカルテから調査

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者： 京都中部総合医療センター 杉野 千尋

-----以上